

平成 30 年度職域におけるがん検診 実施状況調査結果

I 調査概要

(1) 調査目的

- 日本において、がんは 1981 年以後死亡原因の第 1 位であり、今や 3 人に 1 人はがんで亡くなっています。また、2 人に 1 人が一生のうちがんになると言われており、がん検診による早期発見・早期治療は重要です。
- がん検診には、市町村が実施するがん検診のほか、健康保険組合、全国健康保険協会、国民健康保険組合等の医療保険者が主体となって実施する「職域におけるがん検診」があります。
- 「職域におけるがん検診」の実施は義務ではなく、福利厚生の一環として行われているため、府で実態が把握できていないことから、がん検診の受診率向上に資することを目的として実態調査を行いました。

(2) 調査対象年度及び調査期間

- 対象年度：平成 29 年度
- 調査期間：平成 30 年 12 月 7 日～12 月 28 日

(3) 調査対象

医療保険者種別	団体数	回答団体数	回収率
健康保険組合	27	27	100.0%
国民健康保険組合	11	6	54.5%
市町村国保	26	18	69.2%
全国健康保険協会	1	1	100.0%
共済組合	5	4	80.0%
合計	70	56	80.0%

(4) 調査概要

- 各医療保険者における胃がん検診、大腸がん検診、肺がん検診、子宮頸がん検診、乳がん検診の実施状況及び被保険者、被扶養者の受診状況 等

II 調査結果

(1) がん検診実施率

- 被保険者向けのがん検診実施率は概ね 100%。ただし、子宮頸がん、乳がんについては一部実施していない医療保険者もある（表 1）。
- 被扶養者向けのがん検診実施率は、被保険者向けと比べるとやや低い（表 2）。
- ほとんどの医療保険者では、『職域におけるがん検診に関するマニュアル（厚生労働省）』（以下、「マニュアル」という。）に記載された国が推奨する検査が実施されている。（表 3、4）

※国が推奨する検査

- ◇胃がん検診
 - ・胃部エックス線検査
 - ・胃内視鏡検査
- ◇大腸がん検診
 - ・便潜血検査
- ◇肺がん検診
 - ・胸部エックス線検査
 - ・喀痰細胞診
- ◇子宮頸がん検診
 - ・細胞診（医師による採取）
- ◇乳がん検診
 - ・マンモグラフィ

表 1 がん検診実施率（被保険者）

（被保険者に対してがん検診を実施している団体の割合）

医療保険者種別	がん種	実施団体数	回答団体数	実施率
健康保険組合	胃がん	27	27	100.0%
	大腸がん	27	27	100.0%
	肺がん	27	27	100.0%
	子宮頸がん	26	27	96.2%
	乳がん	25	27	92.5%
国民健康保険組合	胃がん	6	6	100.0%
	大腸がん	6	6	100.0%
	肺がん	6	6	100.0%
	子宮頸がん	6	6	100.0%
	乳がん	6	6	100.0%
市町村国保	胃がん	18	18	100.0%
	大腸がん	18	18	100.0%
	肺がん	18	18	100.0%
	子宮頸がん	15	18	83.3%
	乳がん	14	18	77.7%
全国健康保険協会	胃がん	1	1	100.0%

	大腸がん	1	1	100.0%
	肺がん	1	1	100.0%
	子宮頸がん	1	1	100.0%
	乳がん	1	1	100.0%
共済組合	胃がん	4	4	100.0%
	大腸がん	4	4	100.0%
	肺がん	4	4	100.0%
	子宮頸がん	4	4	100.0%
	乳がん	4	4	100.0%

※ 市町村国保においては人間ドックに係る費用助成の有無

表2 がん検診実施率（被扶養者）
（被扶養者に対してがん検診を実施している団体の割合）

医療保険者種別	がん種	実施団体数	回答団体数	実施率
健康保険組合	胃がん	24	27	88.8%
	大腸がん	24	27	88.8%
	肺がん	25	27	92.5%
	子宮頸がん	26	27	96.2%
	乳がん	25	27	92.5%
国民健康保険組合	胃がん	6	6	100.0%
	大腸がん	6	6	100.0%
	肺がん	6	6	100.0%
	子宮頸がん	6	6	100.0%
	乳がん	6	6	100.0%
全国健康保険協会	胃がん	-	1	-
	大腸がん	-	1	-
	肺がん	-	1	-
	子宮頸がん	-	1	-
	乳がん	-	1	-
共済組合	胃がん	4	4	100.0%
	大腸がん	4	4	100.0%
	肺がん	4	4	100.0%
	子宮頸がん	3	4	75.0%
	乳がん	3	4	75.0%

※ 国民健康保険には「被扶養者」という概念はないため、被保険者向け実施率と同率。市町村国保については集計値なし。

表3 マニュアルに記載された検査による検診実施率（被保険者）
 （被保険者に対してマニュアルに記載されたがん検診を実施している団体の割合）

医療保険者種別	がん種	検査項目 合致団体数	がん検診 実施団体数	実施率
健康保険組合	胃がん	25	27	92.5%
	大腸がん	27	27	100.0%
	肺がん	27	27	100.0%
	子宮頸がん	26	26	100.0%
	乳がん	24	25	96.0%
国民健康保険組合	胃がん	6	6	100.0%
	大腸がん	6	6	100.0%
	肺がん	6	6	100.0%
	子宮頸がん	6	6	100.0%
	乳がん	6	6	100.0%
市町村国保	胃がん	18	18	100.0%
	大腸がん	18	18	100.0%
	肺がん	17	18	94.4%
	子宮頸がん	15	15	100.0%
	乳がん	13	14	92.8%
全国健康保険協会	胃がん	1	1	100.0%
	大腸がん	1	1	100.0%
	肺がん	1	1	100.0%
	子宮頸がん	1	1	100.0%
	乳がん	1	1	100.0%
共済組合	胃がん	4	4	100.0%
	大腸がん	4	4	100.0%
	肺がん	4	4	100.0%
	子宮頸がん	2	4	50.0%
	乳がん	3	4	75.0%

※ 「検査項目合致団体数」は国が推奨している検査を実施している団体数。

表4 マニュアルに記載された検査による検診実施率（被扶養者）
 （被扶養者に対してマニュアルに記載されたがん検診を実施している団体の割合）

医療保険者種別	がん種	マニュアルに 記載された 検査項目 実施団体数	がん検診 実施団体数	実施率
健康保険組合	胃がん	24	24	100.0%
	大腸がん	24	24	100.0%
	肺がん	25	25	100.0%
	子宮頸がん	26	26	100.0%
	乳がん	24	25	96.0%

国民健康保険組合	胃がん	6	6	100.0%
	大腸がん	6	6	100.0%
	肺がん	6	6	100.0%
	子宮頸がん	6	6	100.0%
	乳がん	6	6	100.0%
共済組合	胃がん	4	4	100.0%
	大腸がん	4	4	100.0%
	肺がん	4	4	100.0%
	子宮頸がん	2	3	66.6%
	乳がん	3	3	100.0%

※ 国民健康保険には「被扶養者」という概念はないため、対象人数については「家族」としてご回答いただいた団体のみ集計。
市町村国保については集計値なし。また全国健康保険協会については被扶養者向けがん検診の実施なし。

(2) がん検診受診率

- 被保険者向けのがん検診受診率は、胃、大腸、肺に比べて子宮頸、乳の受診率が低い（表5）。
- 被扶養者向けのがん検診受診率は被保険者向けに比べて低いが、がん種による受診率の差は少ない（表6）。

表5 がん検診受診率（被保険者）

（各医療保険者において対象者の内、各がん種の検診を受けた被保険者の割合）

医療保険者種別	がん種	受診者数	被保険者数	受診率
健康保険組合	胃がん	86,930	180,003	48.2%
	大腸がん	95,768	182,623	52.4%
	肺がん	141,094	207,409	68.0%
	子宮頸がん	16,773	48,078	34.8%
	乳がん	19,489	59,665	32.6%
国民健康保険組合	胃がん	3,429	12,603	27.2%
	大腸がん	4,360	12,603	34.5%
	肺がん	3,748	12,603	29.7%
	子宮頸がん	948	4,872	19.4%
	乳がん	933	5,368	17.3%
市町村国保	胃がん	24,543	407,323	6.0%
	大腸がん	32,725	406,035	8.0%
	肺がん	26,423	366,921	7.2%
	子宮頸がん	10,689	200,554	5.3%
	乳がん	8,786	187,725	4.6%

全国健康保険協会	胃がん	134,284	341,116	39.3%
	大腸がん	182,127	341,116	53.3%
	肺がん	207,062	341,116	60.7%
	子宮頸がん	17,517	—	—
	乳がん	12,325	—	—
共済組合	胃がん	12,654	37,260	33.9%
	大腸がん	13,727	36,985	37.1%
	肺がん	22,234	39,121	56.8%
	子宮頸がん	1,499	11,182	13.4%
	乳がん	1,149	11,182	10.2%

※ 市町村国保については市町村が実施するがん検診の受診者は含まず、人間ドックの費用助成を利用した人数から算出

※ 全国健康保険協会については、平成28年度の受診者数から算出

※ 受診者数、被保険者数ともに回答のあった団体のみ算入。

※ 被保険者数は平成29年4月1日時点。

表6 がん検診受診率（被扶養者）

（医療保険者の被扶養者の内、各がん種の検診を受けた者の割合）

医療保険者種別	がん種	受診者数	被扶養者数	受診率
健康保険組合	胃がん	16,243	62,911	25.8%
	大腸がん	17,548	63,388	27.6%
	肺がん	21,036	123,876	16.9%
	子宮頸がん	15,912	65,709	24.2%
	乳がん	16,441	64,565	25.4%
国民健康保険組合	胃がん	1,267	5,530	22.9%
	大腸がん	1,429	5,530	25.8%
	肺がん	1,361	5,530	24.6%
	子宮頸がん	990	4,796	20.6%
	乳がん	950	4,834	19.6%
共済組合	胃がん	962	14,818	6.4%
	大腸がん	1,108	14,818	7.4%
	肺がん	902	14,818	6.0%
	子宮頸がん	269	10,800	2.4%
	乳がん	300	10,800	2.7%

※ 国民健康保険には「被扶養者」という概念はないため、「家族」として集計値を回答いただいた団体のみ反映。市町村国保は集計値なし。また、全国健康保険協会については被扶養者向けがん検診の実施なし。

※ 受診者数、被扶養者ともに回答のあった団体のみ算入。

※ 被扶養者は平成29年4月1日時点。

表7 40歳以上がん検診受診率（被保険者）※子宮頸がんは20歳以上
（医療保険者の40歳以上の被保険者の内、各がん種の検診を受けた者の割合）

医療保険者種別	がん種	受診者数 (40歳以上)	被保険者数 (40歳以上)	受診率
健康保険組合	胃がん	64,848	121,620	53.3%
	大腸がん	59,791	125,121	47.7%
	肺がん	96,722	121,258	79.7%
	子宮頸がん	17,394	63,987	27.1%
	乳がん	9,459	31,285	30.2%
国民健康保険組合	胃がん	3,276	7,379	44.3%
	大腸がん	3,477	4,861	71.5%
	肺がん	3,490	7,379	47.2%
	子宮頸がん	948	1,892	50.1%
	乳がん	879	1,271	69.1%
市町村国保	胃がん	24,382	357,569	6.8%
	大腸がん	30,285	348,138	8.6%
	肺がん	26,834	341,602	7.8%
	子宮頸がん	10,364	216,548	4.7%
	乳がん	8,729	172,278	5.0%
全国健康保険協会	胃がん	112,032	311,924	35.9%
	大腸がん	154,579	311,924	49.5%
	肺がん	175,013	311,924	56.1%
	子宮頸がん	17,517	203,430	8.6%
	乳がん	12,325	116,995	10.5%
共済組合	胃がん	10,047	10,341	97.1%
	大腸がん	8,682	10,341	83.9%
	肺がん	10,387	10,341	100.0%
	子宮頸がん	828	6,370	12.9%
	乳がん	—	—	—

※ 受診者数、被保険者数ともに回答のあった団体のみ算入。

※ 被保険者数は平成29年4月1日時点。

表8 40歳以上がん検診受診率（被扶養者）※子宮頸がんは20歳以上
（医療保険者の40歳以上の被扶養者の内、各がん種の検診を受けた者の割合）

医療保険者種別	がん種	受診者数 (40歳以上)	被扶養者数 (40歳以上)	受診率
健康保険組合	胃がん	9,835	41,691	23.5%
	大腸がん	9,576	42,161	22.7%
	肺がん	12,967	40,537	31.9%
	子宮頸がん	17,497	80,045	21.8%
	乳がん	10,781	43,007	25.0%

国民健康保険組合	胃がん	1,231	4,447	27.6%
	大腸がん	1,342	4,447	30.1%
	肺がん	1,318	4,447	29.6%
	子宮頸がん	990	5,263	18.8%
	乳がん	928	4,032	23.0%
共済組合	胃がん	600	4,405	13.6%
	大腸がん	600	4,405	13.6%
	肺がん	600	4,405	13.6%
	子宮頸がん	171	8,888	1.9%
	乳がん	—	—	—

※ 全国健康保険協会については、被扶養者向けがん検診の実施はなし。

※ 受診者数、被扶養者ともに回答のあった団体のみ算入。

※ 被扶養者は平成29年4月1日時点。

- 被保険者向け、被扶養者向けのがん検診ともに、受診勧奨を実施している場合の受診率は実施していない場合に比べて概ね高い（表9、10、11、12）
- 被保険者向けのがん検診では特に、肺がん検診での受診勧奨の効果が高い（表9、10）。
- 被扶養者向けがん検診でも、受診勧奨を実施している場合の受診率は、実施していない場合に比べて高い（表11、12）が、被保険者向けほどの効果は見受けられない（表9）。また、被保険者向けのような、がん種による効果の差も見受けられない（表9、11）。

表9 受診勧奨がある場合のがん検診受診率（被保険者）

（受診勧奨を行った各医療保険者の被保険者の内、各がん種の検診を受けた者の割合）

医療保険者種別	がん種	受診者数	被保険者数 (受診勧奨あり)	受診率
健康保険組合	胃がん	7,879	15,303	51.4%
	大腸がん	13,469	19,757	68.1%
	肺がん	73,431	76,893	95.4%
	子宮頸がん	3,868	7,083	54.6%
	乳がん	5,511	8,401	65.5%
国民健康保険組合	胃がん	1,575	5,619	28.0%
	大腸がん	2,479	5,619	44.1%
	肺がん	1,653	5,619	29.4%
	子宮頸がん	373	1,753	21.2%
	乳がん	383	2,249	17.0%
市町村国保	胃がん	600	43,018	1.3%
	大腸がん	6,614	55,441	11.9%
	肺がん	—	—	—
	子宮頸がん	1,339	39,555	3.3%
	乳がん	1,050	11,936	8.7%

全国健康保険協会	胃がん	134,284	341,116	39.3%
	大腸がん	182,127	341,116	53.3%
	肺がん	207,062	341,116	60.7%
	子宮頸がん	—	—	—
	乳がん	—	—	—
共済組合	胃がん	10,240	18,616	55.0%
	大腸がん	10,985	18,341	59.8%
	肺がん	19,768	20,477	96.5%
	子宮頸がん	411	556	73.9%
	乳がん	205	556	36.8%

※ 受診者数、対象者数ともに回答のあった団体のみ算入。

※ 被保険者数は平成29年4月1日時点。

表10 受診勧奨がない場合のがん検診受診率（被保険者）
（受診勧奨がなかった医療保険者の被保険者の内、各がん種の検診を受けた者の割合）

医療保険者種別	がん種	受診者数	被保険者数 (受診勧奨なし)	受診率
健康保険組合	胃がん	79,051	164,700	47.9%
	大腸がん	82,299	162,866	50.5%
	肺がん	67,663	130,516	51.8%
	子宮頸がん	12,905	40,995	31.4%
	乳がん	13,978	51,264	27.2%
国民健康保険組合	胃がん	1,854	6,984	26.5%
	大腸がん	1,881	6,984	26.9%
	肺がん	2,095	6,984	29.9%
	子宮頸がん	575	3,119	18.4%
	乳がん	550	3,119	17.6%
市町村国保	胃がん	23,973	364,463	6.5%
	大腸がん	26,111	350,594	7.4%
	肺がん	26,423	366,921	7.2%
	子宮頸がん	9,350	160,999	5.8%
	乳がん	7,395	157,829	4.6%
共済組合	胃がん	2,414	18,644	12.9%
	大腸がん	2,742	18,644	14.7%
	肺がん	2,466	18,644	13.2%
	子宮頸がん	1,088	10,626	10.2%
	乳がん	944	10,626	8.8%

※ 受診者数、対象者数ともに回答のあった団体のみ算入。

※ 被保険者数は平成29年4月1日時点。

表 1 1 受診勧奨がある場合のがん検診受診率（被扶養者）
 （受診勧奨を行った医療保険者の被扶養者の内、各がん種の検診を受けた者の割合）

医療保険者種別	がん種	受診者数	被扶養者数 (受診勧奨あり)	受診率
健康保険組合	胃がん	2,832	6,743	41.9%
	大腸がん	3,089	7,134	43.2%
	肺がん	2,836	6,414	44.2%
	子宮頸がん	1,234	3,642	33.8%
	乳がん	2,473	6,241	39.6%
国民健康保険組合	胃がん	657	2,703	24.3%
	大腸がん	794	2,703	29.3%
	肺がん	660	2,703	24.4%
	子宮頸がん	512	2,198	23.2%
	乳がん	502	2,236	22.4%

※ 国民健康保険には「被扶養者」という概念はないため、「家族」として集計値を回答いただいた団体のみ反映。市町村国保は集計値なし。また、全国健康保険協会については被扶養者向けがん検診の実施なし。共済組合については被扶養者むけに受診勧奨を行っている団体なし。

※ 受診者数、対象者数ともに回答のあった団体のみ算入。

※ 被扶養者は平成29年4月1日時点。

表 1 2 受診勧奨がない場合のがん検診受診率（被扶養者）
 （受診勧奨がなかった各医療保険者の被扶養者の内、各がん種の検診を受けた者の割合）

医療保険者種別	がん種	受診者数	被扶養者 (受診勧奨なし)	受診率
健康保険組合	胃がん	13,411	56,168	23.8%
	大腸がん	14,227	55,756	25.5%
	肺がん	17,762	116,863	15.1%
	子宮頸がん	14,304	61,345	23.3%
	乳がん	13,564	57,602	23.5%
国民健康保険組合	胃がん	610	2,827	21.5%
	大腸がん	635	2,827	22.4%
	肺がん	701	2,827	24.7%
	子宮頸がん	478	2,598	18.3%
	乳がん	448	2,598	17.2%
共済組合	胃がん	962	14,818	6.4%
	大腸がん	1,108	14,818	7.4%
	肺がん	902	14,818	6.0%
	子宮頸がん	269	10,800	2.4%
	乳がん	300	10,800	2.7%

※ 国民健康保険には「被扶養者」という概念はないため、「家族」として集計値を回答いただいた団体のみ反映。市町村国保は集計値なし。また、全国健康保険協会については被扶養者向けがん検診の実施なし。

※ 受診者数、対象者数ともに回答のあった団体のみ算入。 ※被扶養者は平成29年4月1日時点。

Ⅲ 総括

(1) 実施状況

- ほとんどの医療保険者では何らかのがん検診が実施されており、そのほとんどが国の『マニュアル』に記載された検査で実施されている。(今回の調査では、精度管理等については質問していない。)
- 一方で、がん検診を実施していない医療保険者もあることから、被保険者、被扶養者には市町村が実施するがん検診等への誘導などが必要と考えられる。

(2) がん検診受診率

- がん検診の受診が推奨されている年齢層の職域におけるがん検診の受診率は比較的高いが、子宮頸がん及び乳がんについては受診率が低いため、原因の分析と、市町村が実施するがん検診へ誘導するなどの対策が必要と考えられる。

(3) 受診勧奨の効果

- 受診勧奨を実施している場合のがん検診受診率は、実施していない場合に比べて高く、受診率向上へのアプローチとしては有効と考えられる。
- 特に被保険者向けの肺がん検診では、受診勧奨がある場合の受診率(67.9%)とない場合の受診率(18.8%)の差が他のがん腫に比べて大きくなっているため、各がん種の受診勧奨の方法等について比較検証を行い、他のがん種の受診勧奨に応用することも必要と考えられる。